

第2回分科会講演会（交通系）

防災研究会では2ヶ月に1度、各専門部会の持ち回りによる講演会を行っている。9月4日には交通系が担当して第2回講演会を開催した。以下にその概要を紹介する。

日時：9月4日（月） 13：50～15：50

場所：かでの2・7

演題：①「道路防災を考える～札幌市の現状と課題～」

建設部門 城戸 寛 氏

（札幌市道路課）

②「被災後半年を経過した神戸周辺の交通実態報告～現地派遣技術者の実感」

建設部門 柴田 登 氏

（飛鳥建設株式会社）

参加者：50名

専門部会長あいさつ（花田真吾）

交通系専門部会では「災害に強い交通ネットワーク整備への提言」を研究テーマとしており、札幌圏を例とした大都市周辺の交通ネットワークのあり方について、多方面の技術者により研究を進めている。

研究方針①：札幌圏の交通ネットワークの現状を総合的にとらえ、積雪寒冷地という地域性を考慮した、大都市圏の地震災害に対する交通ネットワークのあり方を検討。

研究方針②：人流・物流も含めたネットワークを考え、総合交通体系における道路交通の役割を踏まえて、他の交通機関との結束点強化も考慮する。

研究方針③：整備方針の検討はハード・ソフトの両面を総合的に考慮し プライオリティー

を的確に評価する

研究方針④：研究成果は各分野の連携強化を図り、総合的に機能するものとする。

講演概要

①「道路防災を考える～札幌市の現状と課題～」

城戸 寛 氏

北海道の全人口の3分の1を占める大都市札幌。その札幌市で地域防災計画策定に携わる立場から、札幌市と神戸市の現状比較を具体的な数字をあげて紹介し、施設系専門部会がめざす“災害に強い交通ネットワーク整備”の提言に向けた課題を整理していただいた。

a) 札幌市の道路現況と整備計画の概要（神戸市との比較）

人口、面積、社会資本、ライフライン、医療等の現況比較。道路の平均幅員に見る整備状況。札幌市総合交通体系構想「2バイパス2環状13放射」。

b) 札幌市地域防災計画と「ポパイ計画・緊急対策'95」の紹介

道路対策としての取り組み状況と緊急輸送道路網計画。

c) 既設橋梁の耐震性照査

橋梁の被害想定をどう進めるか。「兵庫県南部地震道路橋震災対策委員会」中間報告書による被害の特徴（単柱式の橋脚は要注意、ゴム支承は被害小、S. 55以前の示方書に準拠した橋梁に被害が集中）。

d) 道路防災計画策定に向けた課題の整理

土木学会の提言を受けた、政府の「新防災基本計画」（リダンダンシーや代替性を踏まえた防災計画）。緊急道路のネットワーク、耐震補強の実施。安全な街、災害弱者の救済。地域性（地形、

気候)を考慮した交通ネットワーク。

②「被災後半年を経過した神戸周辺の交通実態報告～現地派遣技術者の実感」

柴田 登 氏

震災直後に神戸に派遣され、現在も復旧作業に携わる技術者の立場から、神戸周辺の交通実態を中心に報告していただいた。

a) 「神戸」の教訓

日本の歴史が初めて体験した大地震。情報化時代と地震災害。環境重視の時代と地震災害。国際化時代と大地震。価値観多様化の時代と大地震。土木技術者と大地震。

70年経って時代が変わっても、関東大震災と同様の現象(人間の心理など)。

b) 阪神(特に神戸市)地区の交通体系の特徴

地形上の制約(狭い範囲に交通機能が集中)。スピード化施策(バイパス、特急電車)。鉄道の依存度が高い(5割、震災後に大きな影響)。

c) その特徴ゆえの震災による交通体系の影響
大動脈分断。複層被害(高架道路の倒壊による一般道の機能低下)。代替施策不在による利用者

の不满

d) 震災後の陸上交通の状況変化

依然続く震災後遺症・騒音・粉塵・渋滞・ゴミ・臭気・残暑、街全体が片付けの悪い工事現場のよう。復旧工事が本格化し、“実例に見る土木工法事典”の感がある。

e) 幹線交通の現状

鉄道は復旧が完了。道路は工事が続く。神戸の復興はやはり港から。物流の活発化が復旧工事のスピードアップを促す。

f) 復興が急がれる陰で

国道43号線訴訟～これからの道路行政～人の暮らしにつながる技術。問われる工事品質。

g) (復旧事業を通じての)神戸雑感

h) なぜ神戸だったのか?

お知らせ

講演会の際に準備した資料が、まだ若干残っています。ご希望の方は、下記までご連絡を。

TEL (011)785-1511

株式会社 構研エンジニアリング

木村 和之

防災研究会活動日誌

	月 日	研究会名	場 所	人 数	メ ン バ ー
幹 事 会	5月29日	第1回防災研究会 (発足総会) 内訳別紙	第1 ワシントンホテル	100名	能登会長他 99名
	6月2日	第1回幹事会	㈱開発工営社 会議室	15名	能登会長他 14名
	7月3日	第2回幹事会	KKR札幌	15名	能登会長他 14名
	9月4日	第3回幹事会	かでの2・7	14名	能登会長他 14名
講 演 会	7月3日	第2回防災研究会 分科会講演会 (地盤系部会主催)	KKR札幌	65名	能登会長他 64名
	9月4日	第3回防災研究会 分科会講演会 (交通系部会主催)	かでの2・7	70名	能登会長他 69名

	月 日	研究会名	場 所	人 数	メ ン バ ー
分 科 会 議	6月21日	第1回分科会会議 情報系	開土研 会議室	9名	加治屋、金田、佐藤、奈良、 橋本、武藤、森、安江、山崎
	6月16日	第1回 地盤系	(株)開発工営社 会議室	10名	榎本、河村、北、日下部(祐)、 斉藤、高橋、仲野、ニッ川、 船越、椎谷
	6月29日	第1回 交通系	(株)構研エンジニアリング 会議室	10名	花田、木村、城戸、中原、菊地 井上、藤原、川村、麦谷、岩倉
	8月1日	第1回 都市系	かでの2・7	8名	高橋、高宮、佐藤、浜塚、相馬 布村、近藤、太田、新谷
	6月15日	第1回 水工系	開土研 会議室	14名	井出、渡辺、植田、岡崎、大熊 大塚、大宮、勝山、加藤、北越 中村、野々村、松井(弘)、吉野
	7月21日	第2回分科会会議 情報系	開土研 会議室	6名	加治屋、金田、佐藤、武藤、森 山崎
	7月26日	第2回 交通系	(株)構研エンジニアリング 会議室	9名	花田、木村、城戸、篠原、川村 中野、堀口、田川、岩倉
	8月23日	第2回 都市系	下水道事業団 会議室	8名	高橋、高宮、藤原、桑田、佐藤 布村、太田、近藤
	8月7日	第2回 水工系	開土研 会議室	11名	井出、渡辺、岡橋、大宮、勝山 加藤、北越、柴田、中村、 野々村、吉野
	8月28日	第3回分科会 情報系	札幌エレクトロニクス センター	7名	加治屋、金田、森、池田、奈良 佐藤、中沢
	9月29日	第2回 地盤系	かでの2・7		

(文責：木村和之)

【一口世評】

- アメリカリーグで野茂が大活躍。

日本の奪三振王野茂が、アメリカ大リーグに移籍しても奪三振王の活躍。大リーグでの新人王資格もあり、日本人として大いに期待する。1年間に亘った大リーグストによって失った米国の野球ファンを、再び大リーグに呼び戻すなど、アメリカンドリームを再現する野茂にアメリカ人もフィーバー。